



# ショウワトロづめモルタル

ショウワトロづめモルタルは昭和電工建材株式会社が開発したサッシ廻り充填用既調合モルタルです。ケイ酸質系防水材を混入し、防水性能のある完全プレミックスモルタルなので、水を加え、混練するだけで使用できます。

## 特長

ショウワトロづめモルタルは1:3砂モルタル系<sup>※</sup>と比較して以下の特長があります。

<sup>※</sup>砂モルタル系：1：3 砂モルタル+防水材等を調合したもの

- 1** 軽量なので、施工性が良好です。  
約20%軽量化
- 2** 注入器の抵抗が低く、充填性が良好です。  
塑性粘度：約1/5
- 3** 注入後のダレが少なく、保型性が良好です。  
降伏値：約2倍
- 4** 硬化体の防水性能が高い。  
吸水量：約0.5（砂モルタルを1とした場合）
- 5** 硬化体の長さ変化率が低く、クラック、層間剥離が生じにくい。  
長さ変化率：約4/5
- 6** 硬化体の断熱性が高い。  
熱伝導率：約1/2
- 7** 現場で調合する必要がありません。  
工場で生産された既調合品（ケイ酸質系防水材入り）なので、品質が安定し現場での調合管理の手間が省けます。

<sup>※</sup>上記比較数値は弊社の試験データに基づいたものです。

## 用途

- RC造(SRC造)におけるサッシ等開口部材とコンクリート躯体との隙間の充填
- ALCパネルとコンクリート躯体との隙間の充填
- パイプスペース(PS)のダキモルタル

## 練り上がり量 / 包装

約19ℓ / 袋  
25kg 防湿紙袋入り

## 性能

### ■ スラリー性状(混練り直後)

#### 比重

品名	材令	水比(%)	スラリー比重(kg/ℓ)
砂モルタル系		13.5	2.09
ショウワトロづめモルタル		23.6	1.67

<sup>※</sup>砂モルタル系：1：3 砂モルタル+防水材等を調合したもの

#### レオロジー特性

品名	材令	テーブルフロー(mm)	塑性粘度(Pa・s)	降伏値(Pa)
砂モルタル系		170	5.9	27
ショウワトロづめモルタル		176	1.2	53

<sup>※</sup>テーブルフロー：JIS R 5201に準拠 <sup>※</sup>塑性粘度-降伏値測定条件：外筒回転式粘度計 30r.p.m.  
<sup>※</sup>一般的に塑性粘度は、スラリーの変型に対する抵抗に関わる特性であり、注入時における抵抗の指標となります。  
(数値 大→注入時の抵抗 大) また、一般的に降伏値は、スラリーの保形性に関わる特性であり、ダレの指標となります。(数値 大→ダレにくい)

### ■ 硬化体

#### 長さ変化率(%) JIS A 6916準拠

品名	材令	28日
砂モルタル系		-0.154
ショウワトロづめモルタル		-0.121

#### 断熱性能(熱伝導率測定にて評価)

品名	材令	熱伝導率[W/(m <sup>2</sup> ・K)]
砂モルタル系		1.67
ショウワトロづめモルタル		0.89

<sup>※</sup>試験体：JIS A 6916の強さ試験用試験体に準じて作成  
<sup>※</sup>測定機器：shothermQTM迅速熱伝導率計

#### 吸水試験 JIS A1404に準拠

品名	項目	吸水量(g)		
		1hr	5hr	24hr
砂モルタル系		25.6(100%)	38.0(100%)	43.4(100%)
ショウワトロづめモルタル		9.1(35.5%)	17.9(47.1%)	22.3(51.4%)

#### 透水試験

品名	材令	透水量(g)
砂モルタル系		48.4(100%)
ショウワトロづめモルタル		18.7(38.6%)

<sup>※</sup>JIS A 1404に準拠 水圧：98kPa (1kgf/cm<sup>2</sup>) × 1hr

<sup>※</sup>いずれの試験も弊社建材技術センターにて実施

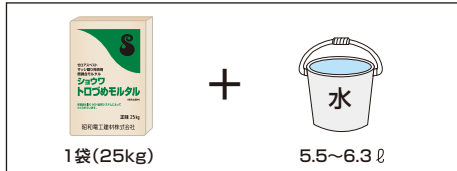
<sup>※</sup>各試験での数値は弊社の試験データに基づくものであり、保証値ではありません。

# 施工方法

## 1 下地処理

- 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良部分、粉塵、油分、汚れ等は、ブラシ、サンダー等で適切に除去してください。
- 下地にクラックや著しい欠損がある場合は、充填前に処理してください。
- 施工箇所は十分な水湿しを行うか、シーラー処理(ハイモルエマルジョン5倍液)を行ってください。

## 2 混練



モルタルミキサーまたはハンドミキサーにてよく混練してください。(約3分)

(可使用時間は約1時間です)

※ポンプ圧送も可能です。施工の際は弊社各営業所までお問い合わせください。

## 3 充填・塗り付け

注入器(商品例:ツマール)等で隙間のないように充填してください。

注意: 充填性が悪い部位(幅、奥行きが10cmを超える場合等)は、2回以上に分けて充填してください。  
(追いかけ施工は可能です。)

## 4 養生

仕上施工までの養生期間は10日(冬期14日)以上としてください。また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。

## 5 その他

トロゾムモルタル施工後、塗膜防水をされる場合は、セレタック®(ポリマーセメント系塗膜防水材料)をご使用ください。

〈混合比〉

ショウワカチオンプライマー(2倍液塗布)

標準使用量: 0.15kg/m<sup>2</sup>

荷 姿	
4kg/ポリ缶 又は 16kg/缶	

セレタック(A-1工法の場合) 標準使用量: 2.0kg/m<sup>2</sup>

材 料	セレタック® G		混合比 (重量比)
	16kgセット/丸缶	34kg/セット	
粉 体	4kg/パック×2 (計8kg)	17kg/袋	1
混和液	4kg/パック×2 (計8kg)	17kg/缶	1

〈混練〉

混和液の比率に見合う粉体を徐々に投入しながらハンドミキサー等で約3分ほど攪拌します。

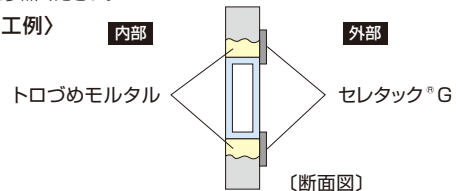
可使用時間は標準で約30~40分です。(気候条件により異なります。)

〈施工方法〉

コテ、刷毛、ローラー、吹付等

※その他詳細につきましては別途、セレタック®のカタログ・施工要領書をご参照ください。

〈施工例〉



# 注意事項

〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れがある場合には施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対避けてください。
- 詳しい施工方法につきましては製品カタログをご参照ください。

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合: 直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。

誤飲した場合: 大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉

- 雨露のからからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は、製造日から4ヶ月以内に使用しきってください。

〈輸送上の注意〉

- 袋の破損による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉

- 飛散したものは、掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。

本製品は、JCQAによりISO 9001認証された製造事業所によりつくられています

日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	ショウワトロゾムモルタル
表 示 登 録 番 号	0312124
ホルムアルデヒド 放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製 造 業 者 等 名 称	昭和電工建材株式会社
ロ ッ ト 番 号	梱包に表示
問 い 合 わ せ 先	http://www.nsk-web.org/

このカタログの記載内容は'17.04月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。  
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

# 昭和電工建材株式会社

■ 本社:建設資材営業部 〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町2-1 TEL(045)444-1691 FAX(045)444-1699 <http://www.sdk-k.com>

- 仙台営業所 〒983-0841 仙台市宮城野区原町3-7-14 TEL(022)742-5077 FAX(022)291-1911
- 名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄3-11-23 TEL(052)249-3151 FAX(052)249-3152
- 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-5-3 TEL(06)6100-2202 FAX(06)6100-1232
- 関東SCMセンター 〒120-0024 足立区千住関屋町1-4 TEL(03)3881-5001 FAX(03)3870-3952
- 東北SCMセンター 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町1-7-2 TEL(022)231-2070 FAX(022)231-2073
- 中部SCMセンター 〒452-0837 名古屋市西区十方町172 TEL(052)501-2421 FAX(052)501-2424
- 関西SCMセンター 〒567-0058 茨木市西豊川町14-3 TEL(072)641-6399 FAX(072)641-6401

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】